

第91回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和7年5月26日(月) 18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(部会長) 磯田大治 (副部会長) 平石崇広 (部会員) 合田美津子、佐藤文子、毛利憲二、大坂倫一、仲川弘誓 (読書活動家) 松平孝子、藤原明日香、鎌田真理子、武者正樹 (庁内委員) 大越智輝 (事務局) 大内拓海、勝田早咲
欠席者	(部会員) 大川和徳、松山哲男 (読書活動家) 河上邦子 (庁内委員) 西川原邦彦
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	・第91回「育み部会」資料(事務局作成) ・「ブックファームあーにす」の取組みについて ・育み部会取組図(絵本)

○会議の要点

1 本日の協議

(1) ブックファームあーにす活動団体意見交換会の結果

- ・前回の育み部会で、ブックファームあーにすの取り組み状況やこれからのについて活動団体で意見交換をした方がいいという意見があったため、本日の部会開催前に活動団体の方同士で意見交換会を行った。
- ・意見交換会のなかで、現在は大人になってからも本に親しんでほしいという思いから、未就学児等を対象とした絵本の読みきかせを行っているが、本来のテーマである「市立図書館の在り方」を考えると、別のやり方があるのではないか、という意見が出た。
- ・そのため、今回の部会では改めて、ブックファームあーにすのテーマについて考えたい、という結果となった。

(2) 意見交換会の結果を踏まえて

- ・現在の目的と本来のテーマについて見直すべきではないか、とのことだが、図書館の利用者を増やすことと、本に触れる機会を増やすことでは、効果の出る時間に差がある。

- ・そのため、どちらに焦点を当ててメインにするのか、でテーマが変わってくるため、これから検討していくことが必要だと思う。
- ・例えば、本に触れる機会を増やすことをテーマとするのであれば、学校図書館で自ら本に触れる機会を作り、ブックファームあーにすでも本に触れることが出来るというのではないか。
- ・よみきかせは本に触れるという一つのきっかけであり、最初から部会で読みきかせをするという目的ではなかった。
- ・やりかたはどうであれ、本に触れるきっかけ作りをするということを改めて考えていくことが大切だと思う。
- ・中学校でタブレットを導入してから、字を書き起こす能力が低くなり、速度が遅くなっていることがある。本を読むことで活字にふれることは必要。
- ・ブックファームあーにすでは、子どもが入ってきてくれるような雰囲気作りや、子どもが2階に来てくれるような宣伝、戦略が必要。
- ・たまにくる新規の方が入りずらそうにしている、場所的に人が集まらないと感じている。
- ・アーニス以外でもやるのかどうか、テーマをさだめることが必要。
- ・図書館との連携も考えた方がいいのではないか。
- ・子どもだけではなく、老人にも読みきかせをする等、「本に親しむ時間を作る」というテーマでブックファームあーにすを行うのはどうか。
- ・また、ブックファーム自体を市内に展開するのはどうか。
- ・広報で周知しても場所が分かりづらいため、1度だけアーニスの2階ではなく1階でやるのはどうか。
- ・次回はどうかやってブックファームあーにすに人を集めていくか検討していく。

(3) 第40回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り

- ・第40回絵本コーナーの担当団体は「おはなしりぼん」。
- ・当日は、4組の親子が来場していた。
- ・絵本の読み聞かせの他に、絵本に関連したうたあそびや早口言葉を実施していた。

(2) 今後の予定

- ・次回、第41回ブックファームは6月21日（土）10：00～12：00。

2 次回の育み部会について

日時：令和7年8月25日（月）18：00～（予定）

場所：アーニス2階 あえる STATION 2